



PRESS RELEASE

報道関係各位

公益社団法人 日本青年会議所
九州地区協議会 2019年度会長 中島 土

「九州経済人会議2019：九州発のSDGs金融を日本の地域再生の柱とするために
—SDGs Innovation HUB金融分野への取り組み始動記念シンポジウム—」開催の件

前略

この度、私ども（公社）日本青年会議所九州地区協議会では、標題の「九州経済人会議2019」を開催し、日本の地域再生の柱となり得る新しいSDGs達成に向けた地域の自律的Innovationを支援する金融エコシステムのHUBプロジェクト始動について全国に向け発信することとなりましたので、別添「開催要領」の通りお知らせいたします。

貴メディアにおかれましては、宜しくご対応方お願い申し上げます。

草々

(別添)

「九州経済人会議2019：九州発のSDGs金融を日本の地域再生の柱とするために
—SDGs Innovation HUB金融分野への取り組み始動記念シンポジウム—」開催要領

1. イベント名称 「九州経済人会議2019：九州発のSDGs金融を日本の地域再生の柱とするために— SDGs Innovation HUB金融分野への取り組み始動記念シンポジウム—」
2. 日時 2019年9月10日(火) 14時30分受付開始、15時開会、17時閉会
3. 会場 エルガーラホール 中ホール(福岡県福岡市中央区天神1-4-2)
4. 主催：公益社団法人 日本青年会議所 九州地区協議会
後援：九州経済連合会、公共政策調査機構、福岡証券取引所、福岡財務支局(予定)

5. 対象者及び参加員数

定員150名：一般のみなさま、金融関係者(金融機関、取引所、業界団体)、政府および自治体、マスコミ関係者、九州地区の青年会議所会員他若手経済人等(順不同)

6. 入場料：無料

7. 趣旨

全国各地に3万人の会員を擁し、サステイナブルな地域・まちづくり運動に日夜取り組む(公社)日本青年会議所(日本JC)は、本年6月21日に、内閣「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」(本部長・安倍総理)が決定した「『拡大版SDGsアクションプラン2019』の具体的な実践に向け積極果敢な取り組みを行っています。

同『アクションプラン』は、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざすわが国の「SDGsモデル」の3本柱である、(1)ビジネスと科学技術イノベーション、(2)地方創生と循環共生型社会、(3)次世代・女性のエンパワーメントに沿って具体的な取組を進めるものですが、青年会議所(JC)運動としては、これらを踏まえつつ、SDGsの1-17の目標全てを実現する手段である「資金」、「技術」、「能力構築」、「貿易」、「体制面(政策・制度整合性、マルチステークホルダー・パートナーシップ、データ・モニタリング・説明責任)」等を駆使して、日本の地域再生の柱となり得る新しいSDGs達成に向けた地域の自律的Innovationを支援する金融エコシステムのHUBプロジェクト、SDGs Innovation HUB金融分野への取り組みを始動し、メンバーが各々地元において自律的な運動展開を行っていくことを目指しています。

今回はとくに、SDGsへのアプローチにおいて不可欠となる自律的Innovationを産む「ファイナンス」に着目し、全国的にみて新たな金融手法への取り組みが盛んであるといわれる九州地区をこの運動の起点と定め、実践上の経済ビジョンの各論の一つとして「地域の金融エコシステム推進」の観点から、その現状と課題認識を相互に共有し、課題解決・目標達成に向けた具体策と青年経済人が果たしうる役割等について議論することで今後、様々なみなさまを巻き込みながら進めていくJC活動の方向性を見定める機会といたします。

なお本シンポジウムの成果は、今秋開催予定のIMF・世銀年次総会(於：ワシントンDC)において発言予定の麻生太郎・副総理兼財務・金融担当大臣等にも報告し、わが国の九州から世界にむけた共創の呼び掛けの契機としていただく予定であります。

8. 内容

第1部 基調講演

【講演1】「SDGs実現に資する金融エコシステムの構築に向けて」（20分）講師 池田健三郎氏
（公共政策調査機構理事長、経済評論家・政策アナリスト）

【講演2】「持続可能な金融エコシステムにおけるファイナンスの役割と展望1：多様化するエクイティ・ファイナンス、企業経営、その資金調達と証券取引所 — 投資する側、投資される側双方に必要なSDGsの視点が、地域イノベーションにつながる予兆」（20分）講師 勝尾修氏（東京証券取引所上場推進部 課長）

【講演3】「持続可能な金融エコシステムにおけるファイナンスの役割と展望2：リスクマネーの供給と地方創生について — 新たなSDGs InnovationファイナンスのHUBに期待されるインパクト」（20分）講師 村井毅氏（日本証券業協会 常任監事）

第2部 パネル・ディスカッション

テーマ：「九州発のSDGs金融 — SDGs Innovation HUBの金融分野への取り組み — を日本の地域再生の柱とするために」（60分）

【パネリスト】

勝尾修氏（東京証券取引所上場推進部 課長）

村井毅氏（日本証券業協会 常任監事）

御友重希氏（野村総合研究所 主席研究員〈財務省より官民交流〉、前金融庁 国際政策管理官）

中島土（日本青年会議所常任理事・九州地区協議会会長）

【ファシリテーター】

池田健三郎氏（公共政策調査機構理事長、経済評論家・政策アナリスト）

（注）

- ・登壇者の略歴等は「別紙」をご参照ください。
- ・必要に応じ、フロア参加者も質疑や意見交換に参加いただく場合があります

8. 本件のご照会先

日本青年会議所九州地区協議会 議長 末宗（スエムネ）電話090-5382-8429

以上

((別紙))

九州経済人会議2019「九州発のSDGs金融を日本の地域再生の柱とするために
—SDGs Innovation HUB金融分野への取り組み始動記念シンポジウム—

登壇者プロフィール (敬称略)

	<p>勝尾 修 (かつお・おさむ) = 東京証券取引所上場推進部 課長 1985年キャノン入社。経理部門を経て、1988年に東京証券取引所に 移る。その後は、上場審査、会員審査を経て、主に上場会社、ベンチャー企 業の広報・IR等のサポートを担当。一時期、経団連の経済広報センターに 出向し、中国・韓国のジャーナリストとの交流事業も担当。 現在は、中国における産学官連携のスピード感等を参考に、日本での産学官 連携+金による地方創生の実現に向け全国を奔走中。</p>
	<p>村井 毅 (むらい・つよし) = 日本証券業協会 常任監事 1984年日本証券業協会入社、企画部、特別会員部、秘書室長、セキュリ ティ対策室長、会員本部副本部長、大阪地区協会事務局長、常務執行役会員 本部長を経て現在に至る。</p>
	<p>御友重希 (みとも・しげき) = 野村総合研究所 主席研究員 (財務省より官 民交流)、CePICメンター共同代表 (SDGs Innovation HUB Projects担当) 1995年大蔵省 (現財務省) 入省。証券 局、主税局、在伊日本大使館を経て、国際局でG7/20・IMF、主計局 で総務省・外務省等予算、理財局で財政投融资担当。内閣官房副長官秘書 官、英国王立国際問題研究所 (チャタムハウス) 客員研究員、大臣官房信用 機構課を経て、環境省に出向しG7富山・伊勢志摩等担当。その際設立した 一般社団法人CePICのメンター共同代表。大臣官房秘書課企画官、金融 庁では証券取引等監視委員会、総務企画局市場業務室、総合政策局国際政策 管理官でG20福岡・大阪等担当。2019年8月より現職。</p>
	<p>池田健三郎 (いけだ・けんざぶろう) = 公共政策調査機構理事長、経済評論 家・政策アナリスト、日本青年会議所アドバイザー (九州地区) 1992年日本銀行入行。調査統計局、熊本支店、国際局、金融市場局など 主要部局を経て民間シンクタンクに移り、多数のTV番組出演・講演活動の 傍ら、PwCあらた監査法人顧問、公共政策調査機構理事長などを歴任。ベ ンチャー企業のガバナンス向上や危機管理支援を一貫して実施。JCの現 役・OB期間を通じ全国のJC組織において講演や公開討論会のコーディネ ートを担当している。</p>
	<p>中島 土 (なかしま・つち) = 日本青年会議所常任理事・九州地区協議会 2019年度会長 2011年一般社団法人大分青年会議所入会。2016年に同青年会議所の 理事長の職を経て、公益社団法人日本青年会議所に出向。役員を歴任し、 2019年1月より現職。 ジェイリース株式会社 取締役副社長執行役員</p>